

活用方針



VLP取組概要



■ VLP活用のねらい

- 適 不登校児童生徒（不登校傾向含む）の新たな居場所または学びの場の確保
- 日 日本語初期指導を修了した児童生徒同士のコミュニケーションの場の確保

■ 対象生徒・児童

- 適 不登校児童生徒（不登校傾向含む）
- 日 日本語初期指導を修了した児童生徒

■ 運営時間

- 適 月～金曜日 9：00～15：30
- 日 隔週月曜日 16：00～16：30

■ 活用方法

- 適 レクリエーション活動、SSWとの面談
- 日 日本語によるコミュニケーション活動

活動・取組み内容



活動・取り組み内容

【前期】

- 適
 - ・常時開設開始
 - ・不登校児童生徒（不登校傾向含む）のうち、学校が認める利用希望者にアカウント配布
 - ・週に2回30分程度のレクリエーション活動
 - ・東京都、安田生命とコラボして金融教育を実施(1回)
- 日
 - ・日本語初期指導を修了した児童生徒にアカウント配布
 - ・週に2回1時間程度のレクリエーション活動

【後期】

- 適
 - ・常時開設開始
 - ・不登校児童生徒（不登校傾向含む）のうち、学校が認める利用希望者にアカウント配布
 - ・週に2回30分程度のレクリエーション活動
 - ・東京都、安田生命とコラボして金融教育を実施(2回)
- 日
 - ・週に1回1時間程度の会話学習・レクリエーション活動。長期休暇中の学習活動（会話・コミュニケーション学習）

成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

成果/好影響

適

- ✓ VLPの取り組みも2年目となり、機器の使用や操作での戸惑いがなくなった。
- ✓ 拡大レクリエーションの時間に、自宅からアクセスする児童生徒が増えた。
- ✓ 参加者相互の連帯感が向上した。教室内での会話が増えた。
- ✓ 拡大レクリエーションの時間に毎回東京都の支VLP援員も参加し、双方向でのやりとりや会話を楽しみながら進めることができた。
- ✓ 成果物や作品を、支援員が仮想空間内に掲示してくれることで、参加の励みにもなっている。

日

- ✓ 入室したら日本語教室へ集合する、動画を見る、会話練習を各指導員と行うなど活動の流れが定着してきており、子ども達の活動時間が増えた。
- ✓ 日本語によるチャット、音声でのコミュニケーションを図ることができた。

次年度以降の方針

- ✓ 対象児童生徒の利用率の増加
 - ⇒ 区主催のイベントの充実
 - ⇒ 支援員やS S W等との連携を強化
- ✓ 活用方法の多様化
 - ⇒ 個別面談の実施
 - ⇒ 運営に携わる区職員を増員

利用者の声



児童・生徒

適

- レクリエーションの時間に、自分で作った問題が出されて楽しかった。
- 仮想空間上にいつでも東京都の支援員さんがいて、すぐに声をかけてくれたり、質問に答えてくれるので嬉しいです。

日

- 友達や先生と日本語で話すことができて楽しいです。
- まだ終わりたくなくて、退出したくありません。



教職員や保護者等

適

- 会話が苦手な児童生徒もチャット機能で思いを伝えることが出来るので、貴重なツールです。
- 参加者がとても楽しそう。保護者も参加してみたいです。
- 新たに参加する児童生徒が戸惑わないように、慣れるまで職員がマンツーマンでナビゲーションしてくれると良いと思う。

今後のバーチャル・ラーニング・プラットフォーム (VLP) 活用について

日頃より教育センター事業につきましては、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。下記のとおり、バーチャル・ラーニング・プラットフォーム (VLP) 事業を拡大いたしますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

記

1 VLPのアカウント配布

(1) 対象者

【継続】令和6年 5月から
・適応指導教室在籍者で配布を希望する者

【新規】令和6年10月から
・不登校児童生徒で配布を希望する者
※欠席日数にかかわらず、何らかの心理的、情緒的、身体的若しくは社会的要因又は背景によって、出席しない又はすることができない状況にある者

(2) 配布方法

- ①教育センター職員から配布
- ②学校の教職員から配布 (配布の希望がある場合は、SSWまたは担当にご連絡ください。)

(3) トラブルへの対応

- ①都のオンライン支援員または教育センター職員が在駐してトラブル対応を行います。
- ②テキストチャットの記録を教育センター職員が確認することができます。

2 オンライン自主学习教材

(1) 教材

- ①【新規】「デキタス」
5分程度の授業動画を視聴した後に確認テストを行います。主要5教科の単元ごとに学ぶことができます。
- ②【新規】「みんなでプログラミング」
基本の考え方から応用問題まで、キャラクターによるアシスタントを受けながらプログラミングについて学ぶことができます。

(2) アカウントの配布対象

VLPのアカウントを配布したすべての児童生徒に教材用アカウントを配布いたします。
※児童生徒の学習状況を確認するための管理アカウントは、別途C4 t hメールにて送付いたします。

3 VLPの取組

	対象者	開設時間	活動 (例)
【新規】 常時開設	・適応指導教室在籍者 ・不登校児童生徒	月～金曜日 (適応指導教室開室日) 9:00～15:30	・自主学习 ・都のオンライン支援員等と会話 ・児童生徒同士の交流 ・SSWや心理士等との個人面談
【拡大】 レクリエーション		水・金曜日 13:30～14:00 ※水曜日のみ実施でしたが、 令和6年10月より金曜日 も実施いたします。	・お絵描きしりとり ・イントロクイズ ・イスとりゲーム ・鬼ごっこ ・かくれんぼ
【継続】 日本語指導	・教育センター日本語 指導教室修了者 ※令和6年8月以降	隔週月曜日 16:00～16:30 ※VLPにて開設日を連絡 いたします。	・教育センター日本語指導教室 指導員との発音及び会話練習

※祝日及び長期休業中は開設いたしません。

(児童・生徒保管用)

「バーチャル柚子の木」アカウント

学校名 (学校)

開設時間: 毎週水・金曜日
13:30～14:00
※春・夏・冬休みはお休みです。

名前 ()

Q&A



「バーチャル柚子の木」入室アカウント

ログインURL		https://ticket.xrcloud.jp/login/
ログインID		
パスワード		

オンライン学習教材「デキタス」アカウント

ログインURL		https://www.dekitus.net/metrovlp
ログインID		
パスワード		

オンラインプログラミング教材「みんなでプログラミング」アカウント

ログインURL		https://eduminprogramming.jp/login
ログインID		
パスワード		

「デキタス」「みんなでプログラミング」の始め方



上の表の二次元コードを読み取るか、学習スペースのつくえの上のアイコンをクリックして始めてね!

「バーチャル柚子の木」を安全に使うための約束

- ① アカウントは、他の人に教えたり、使わせたりしないようにしましょう。
- ② クロームブックを利用してログインしましょう。
- ③ 自分や家族についての大事な情報は、バーチャル柚子の木で知り合った友だちに教えないようにしましょう。
- ④ バーチャル柚子の木でのやりとりを録音・録画しないようにしましょう。
- ⑤ 困ったことがあったら柚子の木教室の職員に相談しましょう。
- ⑥ アバターを見かけたら、楽しくお話ししましょう。(みんなが安心して過ごせるように、相手を傷つけるようなことは言わないようにしましょう。)